

日程

全21日
(3日×7回)

- ① 2025年 5月27日(火)～ 29日(木)
- ② 2025年 6月25日(水)～ 27日(金)
- ③ 2025年 7月23日(水)～ 25日(金)
- ④ 2025年 8月26日(火)～ 28日(木)
- ⑤ 2025年 9月24日(水)～ 26日(金)
- ⑥ 2025年10月15日(水)～ 17日(金)
- ⑦ 2025年11月26日(水)～ 28日(金)

会場

中小企業大学校九州校
(福岡県福岡市博多区綱場町2-1 博多F Dビジネスセンター)

受講料

225,000円(税込)

定員

20名

自立した発想と行動力を身に付ける！

企業が厳しい経営環境に柔軟に対応しながら発展し続けるためには、組織の要となる経営者が会社全体を横断的に見渡すリーダーとして自立した発想と行動力を身につけ、ビジョンを実現する経営戦略とさまざまな管理手法を効果的に実践することが求められます。

本研修では、革新のキーパーソン＝次世代経営者が習得しておくべき経営戦略とマネジメントの視点や手法を理解し、自社の革新的な未来像や戦略・プランを構築・実践していくための手順やポイントについて体系的に学びます。



研修の特色

- ①次世代経営者として必要なスキルなどを体系的に学ぶことができ、発想や行動力が身に付くカリキュラム構成です。
- ②学んだ内容を自社で実践し、振り返ることができるインターバル期間を設定しています。
- ③実践力を養うための、演習、グループディスカッション、ケーススタディ等受講者参加型の多様なプログラムを用意しています。
- ④ゼミナールでは、担当講師によるきめ細かな指導のもと、自社の経営計画等の策定に取り組むことで、経営戦略等の立案能力が身に付きます。
- ⑤他社との意見交換や交流を通じて、幅広い見識の習得や人的なネットワーク形成が可能です。

カリキュラム構成

経営管理者としての能力の向上

- ◆経営管理者の役割と能力
- ◆DX推進
- ◆先進事例の研究
- ◆部下指導 他

経営マネジメント手法実践法の習得

- ◆経営戦略・経営計画
- ◆人材マネジメント
- ◆財務分析・経営体質強化
- ◆マーケティング 他

ゼミナール(自社課題の解決)

- 1.自社の現状分析
- 2.課題の抽出
- 3.改善策の検討
- 4.プランの作成
- 5.発表会

受講生間で情報交換人的ネットワーク形成

次世代経営者へ！

講師紹介(ゼミナール担当)

清永 誠(きよなが まこと)

株式会社ヒューマンリソース・デベロップメント 代表取締役社長

1985年、三井ハイテック(北九州市)に入社し、ICリードフレームの製造、品質管理などを行う。その後、人材派遣の営業などを経て、地元オーナー企業(製造系中小企業)に入社し、営業実務、生産管理などを経験。1995年、多角経営に失敗し、倒産の危機にあった同社を再建。中長期経営計画立案と実践(人づくり・やる気づくり・生産管理と品質管理強化・技術開発等)、自動車産業への参入を果たし、オーナー家へ事業承継。2015年6月、『至誠塾』を立ち上げ、地元の中小企業経営者を対象に高い志を持つ、“人”中心の経営を指導。同年10月より現職。早稲田大学大学院情報生産システム研究科修士(工学)。



青木 道生(あおき みちお)

アジア太平洋マネジメント 代表

立命館アジア太平洋大学卒。地方銀行を経て独立。専門は、「銀行融資」に焦点を当てた中小零細企業・ベンチャー企業向けの経営コンサルティング、財務、経営企画書の立案、策定。銀行融資の基準やポイント等の要素を知り、融資案件全体の「組立」にも精通。中小零細企業・ベンチャー企業と金融機関との架け橋として活躍中。



永易 大樹(ながやす ひろき)

ながやす労務経営 代表

特定社会保険労務士/中小企業診断士/修士(経営学)

福岡県出身。国内化学メーカーに20年以上勤務し、化学品の輸出入、グループ会社の会計及び総務を担当し、採用・労務管理を始め、会社運営に関わる管理業務全般を経験。在職中、通関士(有資格)、社会保険労務士、中小企業診断士を取得。郷里の福岡に戻り、個人事務所を開業。地元及び東京の企業に人事労務コンサルティングを行っている。



園田 恭久(そのだ やすひさ)

有限会社園田経営リスク研究所 代表取締役

中小企業診断士、認定事業再生士(CTP)、経営学修士。

陸上自衛隊通信科部隊(通信機器整備)、企業勤務(情報通信関連営業所長等)を経験。のちに、同僚と情報通信関連企業を起業し、同社を売上10億円・従業員30人規模に育てる。14年に亘る企業経営実務を経験。その後同企業を同僚役員に事業承継し、2005年有限会社園田経営リスク研究所を設立、代表取締役就任。中小企業支援に従事。現在に至る。専門分野は、BCP(事業継続計画)作成支援、事業承継支援、後継者育成支援、知的資産経営手法による事業計画策定支援など。中小機構九州本部中小企業アドバイザー、中小企業大学校人吉校・九州校・広島校、商工団体、金融機関、国・自治体等が実施する研修の講師を務めている。



カリキュラム概要

第1回

経営管理者の役割

5月27日(火)～29日(木)

- 1.経営者に求められる役割と能力
企業経営に必要な視点と考え方 他
- 2.先進的な企業の事例研究
経営者が持つべき視点と発想 他
- 3.経営戦略の立て方と進め方
企業理念と経営戦略 他

第5回

人材マネジメントと組織

9月24日(水)～26日(金)

- 1.人材マネジメントと組織
・労働法に関する基礎知識
・主体性が高まる組織づくりの進め方
・人材育成計画の立て方 他
- 2.ゼミナール ③
自社課題の解決に向けた戦略、実行計画の検討

第2回

財務会計と財務分析

6月25日(水)～27日(金)

- 1.財務分析と経営体質の強化
・決算書の読み方と財務分析の進め方
・利益計画と資金調達計画の立て方
・財務分析の実際(演習)ケーススタディ 他
- 2.ゼミナールオリエンテーション

第6回

デジタル化とイノベーション

10月15日(水)～17日(金)

- 1.デジタル化とイノベーション
・中小企業のデジタル化、DX化の現状と課題
・ITツール体験、事例研究 他
- 2.ゼミナール ④
自社課題の解決に向けた戦略、実行計画の検討

第3回

企業経営のしくみ

7月23日(水)～25日(金)

- 1.戦略マネジメントゲーム
・企業経営の基礎知識
・計数感覚の養成
・模擬経営を通して学ぶ業績の向上策 他
- 2.ゼミナール ①
自社課題の解決に向けた戦略、実行計画の検討

第7回

人事制度、部下指導・定着化

11月26日(水)～28日(金)

- 1.やる気を引き出す人事制度
～社員を定着化させるしくみづくり～
部下とのコミュニケーション 他
- 2.ゼミナール⑤
自社課題の解決に向けた戦略、実行計画の検討
- 3.研究課題発表会

第4回

マーケティングと営業活動

8月26日(火)～28日(木)

- 1.マーケティングと営業活動の進め方
・マーケティング戦略の構築
・新規顧客獲得、既存顧客との関係維持強化
・営業活動の標準化 他
- 2.中小機構の実施する支援施策の活用の仕方
- 3.ゼミナール ②
自社課題の解決に向けた戦略、実行計画の検討

受講者の声(九州校 第1期)



株式会社KITSライン
本部長 前田 博 さん

◆受講動機

近い将来の自身の社長就任が決まっており、今後会社をどのように成長させていくのか、悩んでいたタイミングでもありました。日々忙しい中で経営目標を達成していくための社内の体制をどう構築していくべきか、どう計数管理していくか等々、課題感を持っていたため、受講を決めました。

◆実際に受講した感想

まさに自分が経営者として必要していた「財務」について、ゼミを通じて深く学べたことがとても身になりました。経営幹部として、自社の経営改革を進める上で、数値的な裏付けの重要性を痛感していたが、今回のゼミを通じてその重要性を再認識できました。

様々な関係者を巻き込んで、タフな交渉を進める上でも客観的事実として数値的な裏付けを示しながら、自信を持って、今回の学びを実践していきたいと思っています。

ゼミの課題は、量の多さに面食らった場面もありましたが、粘り強く課題に取り組む中で、財務分析の仕方、そこから自社の状況を紐解き、現状の課題を抽出するための着眼点がわかるようになりました。今後、計数管理を進めていく勘所もつかむことができたため、とても有意義に感じています。

また、ゼミでは周りの受講生(異業種)が自社とは異なる状況で、どのように課題解決の道筋をつけていくか間近で聞くことができたことも、とても勉強になりました。

◆受講推薦の言葉

現在、社長の方や今後社長になることが決まっている方は、周りの受講者からの刺激を受けることができるため、なるべく早く受講することをお勧めします。また、自社の従業員にも受講を勧めたいと思います。

日 程	① 2025年 6月18日(水)～20日(金)	会 場	中小企業大学校九州校 (福岡県福岡市博多区綱場町2-1 博多FDビジネスセンター)
	② 2025年 7月16日(水)～18日(金)		
	③ 2025年 8月20日(水)～22日(金)	受講料	182,000円
	④ 2025年 9月10日(水)～12日(金)		
	⑤ 2025年 10月8日(水)～10日(金)	定 員	20名
	⑥ 2025年 11月5日(水)～7日(金)		
	全18日 (3日×6回)		

生産管理の実践力を磨き、工場の体質強化を実現する管理者へ！

工場管理者には、工場の管理・運営についての幅広い知識を習得し、現場でうまく周囲を巻き込みながら、改善活動を行うことが必要となります。

本研修では、工場管理に必要とされる体系的な知識及び手法を習得し、演習や課題研究等の実践的なプログラムを通じて、顧客の求める品質(Q)、原価(C)、納期(D)を満たすための効率的な工場管理とその運営ポイントを把握し、実践力と総合力のある工場管理者の養成を目指します。

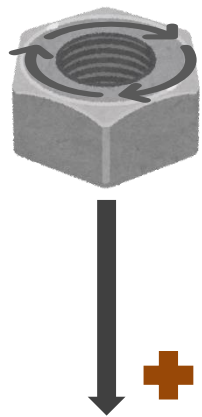


研修の特色

- ①体系的なカリキュラム
 - ・ 演習やグループディスカッションを交え、生産管理の基礎知識から実践的手法まで学べます。
 - ・ 学んだ内容を即、自社で展開して実際に活用していただけるようにインターバル期間を設けています。
- ②少人数制のゼミナールとレポート発表会
 - ・ 実践経験豊富な講師の指導のもと、自社課題テーマの改善策を策定・実践に取り組んでいきます。
 - ・ レポートの発表会には派遣元企業にもご参加いただき、受講生の取組みや成長を確認できます。
- ③人的ネットワークの形成
 - ・ 受講生同士の意見交換や交流を通じて、視点や考え方が広がり人的ネットワークを形成することができます。

カリキュラム構成

工場管理の基本と現場改善手法の習得



ゼミナール
(自社課題の解決)

受講生間で情報交換
人的ネットワーク形成

工場全体の視点から生産現場の体質強化へ挑戦！

- 工場管理の基本と工場管理者の役割
- 5Sの進め方
- 生産現場の改善手法
- 原価管理・コストダウンの方法
- 品質管理の進め方
- 生産計画と生産統制
- IT活用による生産性向上策

- 自社の現状分析
- 課題抽出
- 改善策の検討
- アクションプランの作成と実施
- 発表会(レポート発表)

講師紹介(ゼミナール担当)

北村 正良(きたむら まさよし)

中小機構 中小企業アドバイザー(経営支援)

大手金属加工メーカーでは生産技術、大手住宅設備メーカーでは製造、購買、事業企画等に携わってきた。
現在は九州本部 中小企業アドバイザーとしてハンスオン支援事業を担当。
主に現場改善、生産管理、原価管理、物流改善やシステム導入などのテーマに取り組んでいる。

西田 正則(にしだ まさのり)

にしゃん 代表

大手住宅メーカーの工場にて、生産管理から、製造、品質管理と経験し、プロパー初の工場長を務める。
TPS(トヨタ生産方式)の実践やISO取得を推進し、様々な改善活動を実施。
早期退職後は、地域の中小企業の支援を「改善パートナー」として5Sから「見える化」を進めて、改善につなげている。
最近は、改善のデジタル化として、ITやIoTにも取り組んでいる。

中村 純治(なかむら じゅんじ)

純経営コンサルオフィス 代表

大手家電メーカーや大手半導体メーカーのエンジニアを経て、2007年に中小企業診断士として開業。福岡県内の支援機関で経営窓口相談や経営革新計画の作成支援に携わった後、2010年より中小機構九州本部にて企業のモノづくり支援・経営支援のアドバイザーを務めた。経営戦略・知財戦略・技術戦略・経営組織・管理会計・マーケティング戦略等を中心とした技術経営(MOT)分野に強みを持つ。研究開発部門や生産工程部門の支援を得意としている。

加藤 圭示(かとう けいじ)

中小企業診断士事務所きづきの 代表

金型メーカーにて工場立ち上げ、技術開発、情報システム構築等に携わった後、中小企業診断士として独立。独立後は、中小企業を対象に、生産管理、在庫管理等の改善の支援や、生産管理システム、販売管理システム等の情報システム導入の支援を行っている。課題解決の際に、解決策等を考える上での前提となる現状把握を得意としている。

カリキュラム概要

第1回

工場管理者の役割

6月18日(水)～20日(金)

- 1.工場管理者の役割
工場管理者に求められる役割と能力 他
- 2.5Sの進め方
5Sの意義と目的、5Sの実践と留意点
- 3.ゼミナール・オリエンテーション
ゼミナールの進め方の説明

第2回

生産現場の改善手法

7月16日(水)～18日(金)

- 1.生産現場の改善手法
現場改善の目的と考え方
現場改善と目で見える管理
改善活動を定着化させる取り組み
- 2.ゼミナール ①
生産現場の改善策の立案(自社演習)

第3回

品質管理

8月20日(水)～22日(金)

- 1.生産管理スキル②「品質管理」
品質管理の体系と手法
統計的品質管理の進め方
QC7つ道具の活用法
事例研究
- 2.ゼミナール ②
生産現場の改善策の立案(自社演習)

第4回

原価管理

9月10日(水)～12日(金)

- 1.生産管理のスキル①「原価管理」
原価の仕組み
原価計算と原価管理
コストダウンのアプローチ法
事例研究
- 2.ゼミナール ③
生産現場の改善策の立案(自社演習)

第5回

納期管理

10月8日(水)～10日(金)

- 1.生産管理スキル③「納期管理」
納期管理の基本
生産計画の立て方 他
- 2.中小企業支援施策の活用法
中小機構の実施する支援施策の活用法
- 3.ゼミナール ④
生産現場の改善策の立案(自社演習)

第6回

生産性向上策

11月5日(水)～7日(金)

- 1.事例で学ぶITを活用した生産性向上策
生産管理を行う上で必要なITの基礎知識
生産現場でのITの活用策 他
- 2.ゼミナール ⑤
生産現場の改善策の立案(自社演習)
- 3.ゼミナール ⑥
研究課題発表会

受講者の声(九州校 第1期)



白石鉄工株式会社
新門司工場
副工場長 山本 浩樹さん

◆受講動機

弊社の管理者人材育成計画に沿って中小企業大学の工場管理者養成コースを受講させて頂きました。上司が工場管理者養成コースを受講済で、弊社内では工場管理者の登竜門的立ち位置の研修会であった為、工場管理者としてレベルアップ出来る機会を頂きました。

◆実際に受講した感想

工場管理者養成コースでは、工場管理者としての役割、基礎知識を含めたいろはを教えて頂きました。長期に渡る研修に参加するのが初めてであり、他業種の方との交流機会も無かったのですがグループディスカッションを取り入れた講義内容で他社の悩みや改善事例などが聞けとても有意義な時間でした。どの研修も噛み砕いた内容で分かり易く自社に落とし込んだ時にすぐ活用できる内容だったので凄く参考になりました。

ゼミナールでは西田講師のご指導の下、TPSや5Sについて講習・アドバイスを頂きレポート発表会のテーマである5Sを自社で推進することが出来ました。又、「若さとは、殻を破る事」とご指導頂き何事にも諦めない心意気を教えて頂きました。

工場管理者コース(第1期)でご担当頂いた事務局の皆様、各講師の皆様、ゼミナールの皆様半年間大変お世話になりました。人吉校談話室での経験は私の一生の宝物になりました。

◆受講推薦の言葉

まず、講師の皆様の熱意が凄く工場管理者とはどうあるべきかを、様々な視点で分かり易く噛み砕いて教えてくれます。他業種の方と交流が出来る事、学べる事で今後の工場管理者としてレベルアップ出来る事間違いなしです。私は、また参加したいです。(笑)



有限会社 杉谷本舗
製造部
工場長 前田 和浩さん

◆受講動機

今年の4月から工場長と言う立場になりましたが、今まで現場を中心に動いてきた私は「管理」と言うのがよく理解しておらずどうして良いものかと悩んでいたところ工場管理者研修24期卒業生の三宅さんからこちらを薦めてもらいました。当社の社長からも管理者としての学びと、人生の師となる講師と、人生の友となる仲間を見つけてきてくださいと言われて受講を決めました

なかでも5SやPDCAは何となく知ってはいましたが、詳しく教えていただき、その重要性をさらに実感しました。グループディスカッションではゲーム形式のようなものもあり、他社の方々とワイワイ楽しくできディスカッションワークでやった事により頭でだけでなく体感として記憶に残りました。

またゼミナールでは自社の問題点の現状把握を行い解決に向けての対策立案から実際に現場での取り組み改善の実践ができました。また、他業種の方々との意見交換をすることにより様々な考え方に触れられた事も良い刺激になりました。

ゼミナールと言うのが初めての私は少し緊張して臨んだのですが中村講師をはじめ、様々な講師の皆様、中小企業大学の事務局の皆様、そして一緒に受講を受けたメンバーの皆さまのおかげで大変楽しく半年間のセミナーを受けることが出来ました。ありがとうございました。

◆受講推薦の言葉

私のように管理者になっただけの人にはお勧めします。工場管理者の役割、位置付け、業務内容、スキル、基本などをわかりやすく教えてもらえますし、現場の悩み事や改善などの方法が見つけやすくなります。また、他業種の方々と交流を深めることが出来、良い刺激にもなります。当社は私が初めての受講でしたが来季から部下にも受講を薦めようと思っています。

◆実際に受講した感想

内容についても非常に分かりやすく、勉強になりました。自分の足りない所(足りない所だらけ)を見直す大変良い場となりました。5Sから始まりITの活用まで管理者としてのスキル、考え方、行動を学びました。